日産リーフがブラジルで「Best Purchase Among Electric Cars」を受賞

クアトロロダス誌が100%電気自動車の広々とした積載スペースと最先端のテクノロジーを評価

日産自動車株式会社　　2021年09月22日

2019年にブラジルで発売を開始した100%電気自動車「日産リーフ」が、この度、同国の有力自動車誌クアトロロダスで ’Best Purchase Among Electric Cars up to 300,000 Reais’ を受賞しました。

本受賞においては、最先端の運転支援技術や荷室の広さ、積載量の多さといった自動車本来の機能と、お客さまにとって重要なポイントであるアフターサービスにおいて、「日産リーフ」を取り扱うディーラーの店舗数を7から44に拡大する[*1]ことが高く評価されました。

「日産リーフ」は2010年の発売以来、2011ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー、2011ヨーロッパ・カー・オブ・ザ・イヤー、2011-2012日本カー・オブ・ザ・イヤー、2018ワールド・グリーン・カー賞など、世界中で数々の賞を受賞しています。
「日産リーフ」は、世界中で50万台以上が販売されており、発売以降、全世界におけるリーフの総走行距離はおよそ180億km以上に達し、300万トン以上相当のCO2削減に貢献しています[*2]。

電気自動車のパイオニア

日産は2010年にグローバル販売としては世界初となる量産型電気自動車[*3]「日産リーフ」の発売を開始、そして今冬より新型クロスオーバーEV「日産アリア」の販売を開始します。日産は、EVやe-POWER電動パワートレインを搭載した電動車を2023年度までに年間100万台以上販売することを目指しています。

*1 ブラジル国内での電気自動車の需要増を受け、21年度内にリーフの取り扱い店舗を現在の7から44に拡大する計画。
またリーフを取り扱う店舗には充電器も設置予定。

*2 距離とCO2のデータは2021年7月時点で日産グローバルデータセンターが収集したカーウイングスに登録されたLEAF車両台数に基づいて計算されています（世界のLEAF総販売台数の約50%）。計算：総走行距離（GDCデータ）/カーウイングス登録車両数×総累積販売台数

*3 グローバルで販売する量産型電気自動車として世界初

以 上